

環境変化の中でのアナリストの役割

公益社団法人 日本証券アナリスト協会
会長 新 芝 宏 之 CMA



(本稿は2018年7月18日に開催された日本投資・運用フォーラム2018の講演要旨である。)

目 次

1. はじめに
2. 金融・資本市場をめぐる今の環境の変化
3. 環境の変化が企業の価値創造のプロセスや企業価値の評価に与える影響
4. 証券アナリストに求められている役割
5. 証券アナリストに今起こりつつあること
6. 日本証券アナリスト協会の役割

1. はじめに

日本証券アナリスト協会の新芝です。本日は、「日本投資・運用フォーラム2018」でお話しする機会を頂きありがとうございます。

本日は、まず、現在の金融・資本市場をめぐる環境にどのような変化が起きているのか、次に、そうした環境の変化が企業の価値創造のプロセスや企業価値の評価にどのような影響を与えているのかについてお話ししたいと思います。そして、こうした変化や影響の中で金融・投資のプロフェッショナルである証券アナリストに求められている役割をどのように捉えればよいかについて申し述べたいと思います。

2. 金融・資本市場をめぐる今の環境の変化

まず、金融・資本市場をめぐる今の環境の変化についてですが、私は、現在の環境の変化は、長きにわたり続いてきたグローバルな覇権体制や国

際的な政治経済の均衡が崩れつつある中で、「旧秩序」から「新秩序」へ向かう大きな構造転換ではないかと考えています。「旧秩序」は、「米国の覇権」、「市場メカニズム」、「グローバリゼーション」を基盤とする時代でした。経済やファイナンスの理論によれば、市場での競争が資源配分の効率性を高め、適正な価格形成が行われることによって国の成長が促され、グローバリゼーションが進むことによって世界貿易が拡大し、世界の成長が高まり、それが国の経済にもプラスをもたらすと考えられていました。そうした考え方は20世紀までは有効であったように思います。

21世紀に入ってから、そうした「旧秩序」が様々な問題に直面してきています。だからと言って「新秩序」が何かと問うても、まだ明確に定義することは難しいと思います。イアン・ブレマーは、2012年の著書の中で、世界に明確なリーダーがいない現状を「Gゼロ」と名付けました。彼は、米国の経済力が衰退するとともに、中国の経済力が大幅に上昇する中、現在の世界は指導者がいないGゼロという「真空状態」にあると主張